

私たちは、人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした

生命を大切にすること 思いやりを大切にすること 学ぶことを大切にすること
をもって地域の安心づくりに努めます。

愛全病院 基本方針

患者さまの権利の尊重

1. 人間愛と責任感に基づき、優しい医療に努めます。
2. 患者さまへの十分な説明と同意、並びに患者さまの選択の意思の尊重に努めます。
3. 患者さまのプライバシーを尊重し、また、個人情報の保護と診療情報の提供に十分な配慮をいたします。

地域の安心づくり

4. 良質な医療サービスを提供して、地域の皆さまの安心づくりに貢献します。
5. 入院・通院から在宅まで「継続的な」医療とリハビリテーションの提供に努めます。

患者さまの満足度の向上

6. 常に患者さまの声に耳を傾けて、温かみのある療養環境づくりに努めます。
7. 良質な医療の提供のため、たゆまざる努力と研鑽に努めます。

患者さまの権利について

1. 個人の尊厳
患者さまは、常に一人の人間として、その人格・価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. 良質な医療を平等に受ける権利
患者さまは、社会的地位・年齢・性別・信条・疾病の種類などにかかわらず、平等に適切な医療を受ける権利があります。
3. 知る権利
患者さまは、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 自己決定権
患者さまは、医療の内容を十分に理解し納得した上で、治療方法などを自らの意志で選択する権利があります。
5. プライバシーの権利
患者さまは、医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 健康教育を受ける権利
患者さまは、病気やその療養方法および保健・予防等について教育を受ける権利があります。
7. 患者さまの責務
良質・安全な医療を実践するためには、患者さまと医療提供者との間のパートナーとしての人的信頼関係と双方向のコミュニケーションがきわめて重要になります。

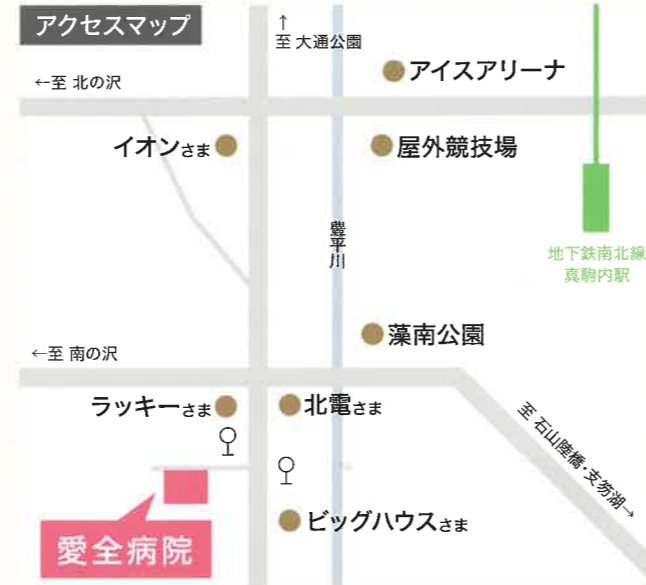


医療法人愛全会 愛全病院

〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
Tel.011-571-5670 Fax.011-572-8005
http://www.aizenkai.or.jp



病院機能評価 認定第MB44-4号
主たる機能:慢性期病院
評価項目:3rdG Ver1.1



じょうてつバス

- 地下鉄南北線[真駒内駅]から
硬石山行(南95番)、石山1条6丁目行(南95番)行き
- JR札幌駅バスターミナルから
定山溪線又は豊平城温泉行(7番)、藤野4条5丁目行または豊滝行(7番)行き
- 最寄りの停留所「川沿12条2丁目」にて下車



理事長からのご挨拶

すべての患者さまに
生きる喜びを

病院長からのご挨拶

思いに応える医療であるために

看護部からのご挨拶

心をひとつにして、創意工夫で乗り越える

医療安全管理室からのご挨拶

継続的な医療の質向上をめざして

【新型コロナウイルス感染対策】

【愛全会グループのトータルリハビリテーションの特色】

優

You

2021 Winter Vol.14

令和3年冬号
発行元:医療法人愛全会 愛全病院





理事長からのご挨拶

すべての患者さまに生きる喜びを

医療法人 愛全会 理事長
赤塚 知以

2019年度末から始まりました新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、未曾有の事態として日常を一変させ、未だ予断を許さない状況が続いております。

その間、愛全病院では、新型コロナウイルス感染患者の陰転化後の受入れ、院内感染制御チーム（ICT）による愛全会グループの介護施設等への感染対策指導とサポート、患者さま、ご利用者さま、近隣住民の方々に対するワクチン接種の実施など積極的に取り組んでまいりました。

愛全会グループの職員をはじめ医療・介護に携わる全ての皆さまには、自分が感染するかもしれない、或いは感染の媒介者になるかもしれないという緊張と不安を抱えながら、患者さまの生命を守り、安全・安心

な環境を支えるため、日々献身的に医療・介護の現場で活躍していただいていることに誇りを覚えるとともに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、地域住民をはじめ多くの方々からの愛全病院への温かい応援と感謝のお言葉は、優しさや愛に満ちあふれていて、何よりの励みになりました。地域に根差した医療活動に対する更なる貢献としてお返ししていきたいと存じます。

愛全病院は、ご高齢者の医療・介護のパイオニアとして、患者さまお一人おひとりの想いに寄り添い、「生きる喜び」・「地域の安心づくり」に職員一同心を合わせて努力してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



病院長からのご挨拶

想いに応える医療であるために

愛全病院 病院長
土肥 修司

コロナで明けくれた2年、感染拡大は予断を許さない状況ですが、愛全病院は、今後も安全な医療を提供し、地域に愛される病院として難局に立ち向かってまいります。

創立以来52年間、赤塚理事長のもと、当法人は時代や地域の要請に応えながら、慢性期医療と福祉分野のパイオニアとしての役割を担ってまいりました。安心して満足できる長寿社会に相応しい医療と看護と介護を提供するために、人材育成にも力をいれております。

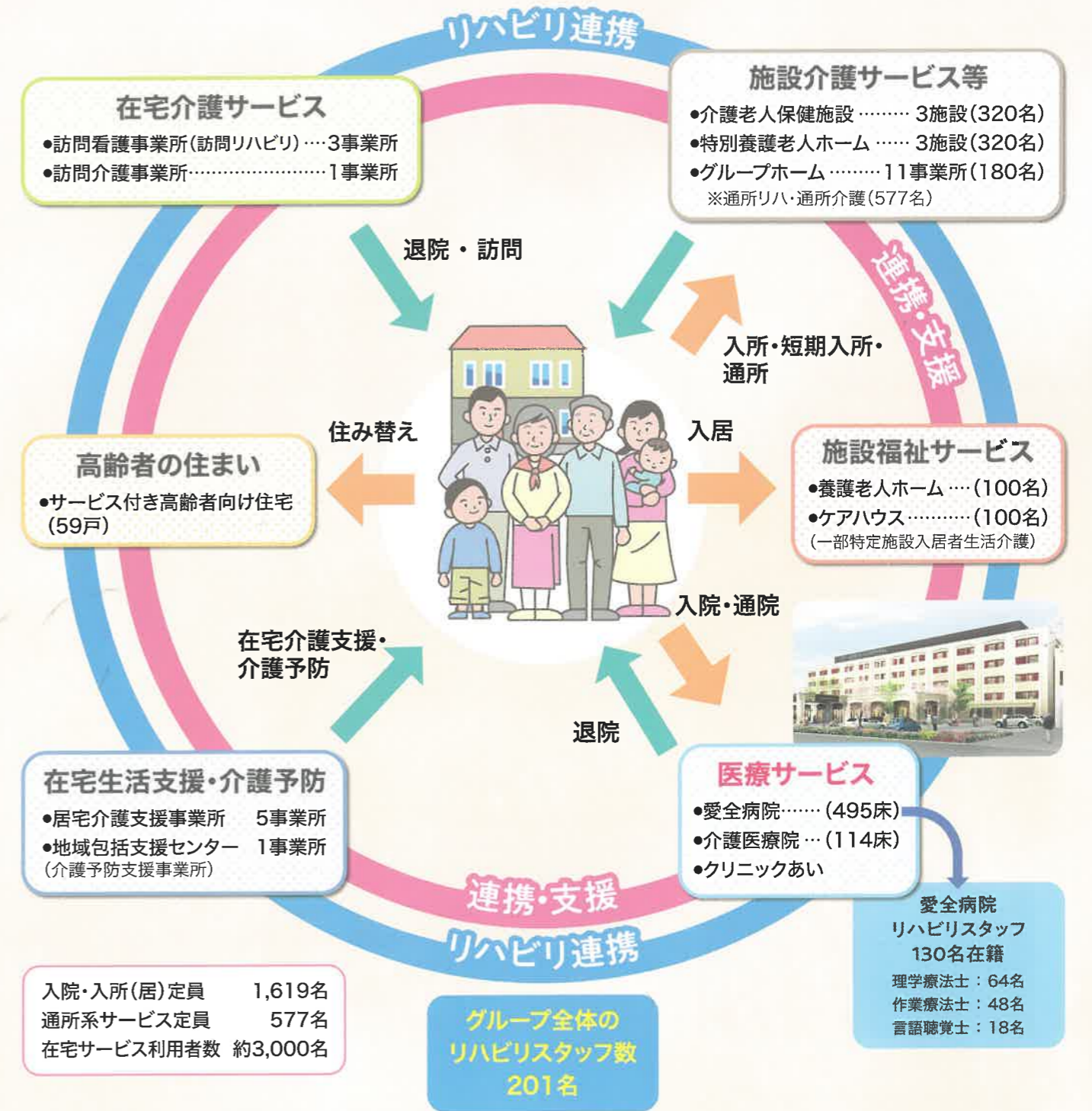
人生100年、超高齢社会に突入し、人を看取る医療もますます重要になってまいります。愛全病院の素晴らしい療養環境の中で、さまざまな患者さんやそのご家族と対峙しながら、高齢者の生命力、重ねた年輪からの逞しさ、そして誠実でつつましく、物静かに生きてきた姿も目にしてきました。死への過程は穏やかであって

ほしいと願いつつ、職員と共に一人一人の患者さんに満足いただき、看取るご家族の心に静かに寄り添うような対応ができるよう努力を続けてまいります。

慢性期医療の遂行では、地域医療連携室による医療相談員から始まり、看護・介護職員、医師、リハビリ職員、栄養士、薬剤師など多様な専門職員による協働は欠かせません。その中での職員の対応や姿勢も、患者さん・ご家族の安心と満足感に影響します。

今年度は電子カルテを導入し、院内の情報共有の促進と、患者さん・ご家族中心の丁寧かつ迅速な入・退院態勢を更に進めてまいります。電子化による職員相互の情報共有は日常業務に余裕を生み、患者さんの想いに応える医療者の心を豊かにし、医療の質の向上にもつながります。そして“コロナ禍”の暗い今、前途を照らす希望の雪明かりとなることを願っております。

「愛全会グループのトータルリハビリテーション」の特色



1 回復期リハビリテーション病棟(55床)の実績

- 在宅復帰率 **82.3%** [2020年4月～2021年3月実績]
- 患者様一人当たりの平均リハビリ時間 **1日約150分** 2020年度実績
- 施設基準は6段階で最も高い「入院料1」を取得(2021年4月現在)
- 土日祝も(GW・年末年始も含め) **365日**休まずリハビリを実施
- 夜勤帯でのリハ職員による**ナイトリハビリ**を週2回実施

2 愛全病院の特色

- 無料シャトルバスあり**(関連施設を巡回)
 - ⇒ 中央区便(愛全病院～大通西6)・南区便(真駒内駅・南区役所経由)
- コロナ禍での**タブレット活用**による、リハビリ状況の伝達・施設間の情報共有
- ZOOMを活用したカンファレンス**の実施

相談窓口：地域医療連携室 直通：011-572-8001

新型コロナウイルス感染対策

面会制限の緩和のお知らせ

現在、当院では市中の新型コロナウイルス感染者が減少傾向であることから、11月より当面の間、面会制限を緩和しております。

感染防止対策のため「完全予約制」の他、一定の条件を設けたうえで実施させていただいておりますので、ご希望の場合には、お電話にてお申込みくださいますようお願い申し上げます。



◆ 総合案内



- 1 来院者の受付対応(検温の実施と手指の消毒のお願い)
- 2 入退院患者の対応
- 3 患者様・ご利用者様のお荷物のお預かり・ご返却(対応する職員が手指衛生とマスク着用を徹底)
- 4 感染対策としてアクリルパネルを設置

◆ 外来受付



- 1 毎日の検温・手指衛生の徹底(こまめな手洗い、消毒)・マスクの着用
- 2 飛沫防止パネルの設置
- 3 全ての来院者にマスクの着用と手指消毒をお願い
- 4 待合室座席のソーシャルディスタンス確保
- 5 入退院受付時の対策
入院費のお支払い方法は、現金・クレジットカード・デビットカードの他、来院せずにお支払いができる口座振替・お振り込みもお選びいただけます。
- 6 外来受付時の対策
風邪症状のある方については外来看護師と連携し、専用の待合室へご案内。一般外来の患者様との接触をできるだけ減らすようにしています。また、電話での処方箋発行も行っています。

◆ 病棟感染対策



- 1 病棟毎による職員の休憩場所の限定
- 2 体調不良者発生時の予防的ゾーニング
- 3 職員、職員家族へのワクチン接種
- 4 交差しない患者様の院内動線の確保
- 5 感染管理認定看護師による病棟環境の整備
- 6 ITを利用した感染予防研修

詳細を動画で
ご覧いただけます



看護部からのご挨拶



愛全病院 看護部長
齊藤 泉

心をひとつにして、創意工夫で乗り越える

看護部は「患者さんの歩んできた人生を尊重し、専門職としての知識・技術・態度をもって心に寄り添う看護を提供します」とする新たな理念のもと、高齢者ケアの実践力の強化、多職種との連携によるケアの充実、勤務環境の整備に取り組んできました。

高齢者医療を提供する愛全病院としては、新型コロナウイルス感染者の増加報道を受け、病院一丸となって予防

対策に取り組みました。一方、感染予防が最優先の中で、最善のケアは何かを考え、葛藤と戦いながらも創意工夫で乗り越えてきました。先が見えない閉塞感、職員の気持ちにも影響を与えたと感じています。しかし、今だからこそ人間関係をたいせつに、皆で心をひとつにして乗り越えていきたいと考えています。

医療安全管理室からのご挨拶



愛全病院 医療安全管理室 副部長
高木 日登美

継続的な医療の質向上をめざして

医療安全管理室は2019年7月より設置され、医療安全管理室担当副看護部長1名他、医療安全管理を担当する医療安全管理者1名(看護師)、感染管理を担当する感染管理認定看護師1名が専従で配置されています。愛全病院では基本方針の一つに「良質な医療サービスを提供する」を掲げており、全職員が一丸となり日々努力を重ねていますが、継続的に医療の質を改善していく取り組みが必要不可欠です。医療安全管理室は「医療安全管理」と「感染管理」で構成され、組織横断的に院内各部署・各職種

と連携して業務改善やマニュアルの整備など医療に係る安全性の向上に取り組んでいます。現在は特に法人グループ全体を視野に入れたCOVID-19感染防止対策に力を注いでいます。

医療安全

医療安全対策として、インシデント・アクシデント事例の把握・分析・改善策の検討・実施評価による安全対策の強化を図っています。院内ラウンドを通じて情報収集や現場教育に努め、事例分析の結果から安全向上のための仕組みづくりや職員の医療安全意識の向上、安全文化の醸成を目指し活動しています。

感染管理

感染防止対策としては、感染症発生の未然防止、発生時の迅速かつ適切な対応、病棟等の定期的なラウンド、研修を通じた職員教育等、院内感染防止の強化に努めています。特に昨年からCOVID-19感染防止対策とワクチン対応に注力しており、収束が見通せない現在も気を緩めず職員一丸となって対策を継続しています。